

# やまがた 議会だより

平成29年4月

No. 120

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 平沢恒雄）  
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



## 防災行政無線開局

■第1回議会定例会／主な議案 ……2	■青木村視察 ……5
■第1回議会臨時会 ……3	■議会日誌 ……5
■一般質問 ……4	■私の一言 ……6

# 平成29年度第1回議会定例会

## 骨格予算・条例制定 等

### 18議案可決

平成29年度山形村議会第1回定例会が3月1日開会し10日まで10日間開催された。

村長選挙が予定されての予算編成のため、新規事業、政策的事業を除く「骨格予算」となった平成29年度当初予算、平成28年度一般会計補正予算などが提出した議案18件及び教育委員の人事案件1件を審議し、いずれも可決した。

村道認定は2路線、村職員定数条例など条例4件、平成29年度一般会計予算など7件、平成28年度一般会計補正予算など6件を原案通り可決した。

一般質問は8日、3人が登壇し、村政の課題を質問した。  
(増澤 武志)

#### 条例改正・廃止

- 山形村職員定数条例の一部を改正する条例について
- 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 山形村税条例の一部を改正する条例について
- 山形村公共下水道推進基金条例を廃止する条例について

#### 補正予算

- 平成28年度一般会計補正予算(第6号)
  - 歳入歳出総額から6千5百67万9千円を減額し総額を36億4千98万6千円とするもの。

#### 国民健康保険

- 国民健康保険特別会計の基盤安定のため繰入金として1千38万4千円

#### 小学校

- ・体育館の放送設備取替工事に百29万6千円
- ・枝垂れ桜樹勢回復工事に伴い、危険防止用柵設置工事に73万5千円

- 平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
  - 歳入歳出総額から2千8百16万円を減額し、総額を11億8千3百99万2千円とするもの。
- 平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
  - 歳入歳出総額から百60万6千円を減額し、総額を6千5百23万6千円とするもの。
- 平成28年度介護保険特別会計補正予算(第5号)
  - 歳入歳出総額に千9百74万8千円を追加し総額を7億2千6百6万7千円とするもの。
- 平成28年度清水高原簡易水道特別会計補正予算(第2号)
  - 歳入歳出総額から22万6千円を減額し総額を4千6百3万3千円とするもの。
- 平成28年度下水道事業会計補正予算(第1号)
  - 収益的収益に2百43万4千円を追加し予定額を4億5千3百43万4千円とするもの。
  - 収益的支出に2百27万9千円を追加し予定額を4億5千2百27万9千円とするもの。
  - 資本的収入から2百43万4千円を減額し予定額を7千8百28万6千円とするもの。

#### 平成29年度当初予算

- 一般会計予算
  - 歳入歳出総額30億9千5百40万円(前年度比5億8千4百60万円減)の骨格予算とするもの。

#### 小学校

- 国民健康保険特別会計予算
  - 歳入歳出総額12億千4百93万7千円
- 後期高齢者医療特別会計予算
  - 歳入歳出総額6千8百58万8千円
- 介護保険特別会計予算
  - 歳入歳出総額7億3千8百54万2千円
- 清水高原簡易水道特別会計予算
  - 歳入歳出総額5千4万8千円
- 水道事業会計予算
  - 収益的収入2億千2百21万9千円

- 一般会計予算
  - 歳入歳出総額30億9千5百40万円(前年度比5億8千4百60万円減)の骨格予算とするもの。

- 一般会計予算
  - 収益的支出1億7千87万2千円
  - 資本的収入2百2万円
  - 資本的支出3千4百22万円
- 下水道事業会計予算
  - 収益的収入4億2千6百56万4千円
  - 収益的支出4億百46万7千円
  - 資本的収入8千16万円
  - 資本的支出2億4千3百6万5千円

#### 同意

- 第1号
  - 教育委員会委員の任命について  
大角則夫氏(中大池)を同意  
任期 平成29年4月1日～30年9月30日



# 補正(肉付け)予算・全会一致で可決

4月  
臨時会  
11日～13日

区と連絡班(自治組織)見直し・空き家対策等の検討委員会設置へ  
「交通災害共済・掛金」全村民向けに全額助成(自動加入方式)

## 一般会計補正予算 2億2,695万円

### 第1回臨時会

平成29年第1回臨時会が4月11日～13日に開催され、編成を見送っていた政策的経費を計上した補正予算案等5議案が審議され可決した。一般会計は歳入・歳出ともに2億2千6百95万円を追加し総額予算33億2千2百35万円でスタートした。(大月民夫)

#### ※補正予算※

- 各種検討委員会設置
- ☆区・連絡班検討委員会
- ☆総合計画審議会
- ☆空き家等対策推進協議会
- ☆風食防止検討委員会等

- 交通災害共済掛け金  
全村民向けに助成  
(2百32万円)

- 清水寺の修理工事  
事業補助金として  
(3千4百75万円)

- 保健福祉センター費  
入浴施設のボイラー更新  
(4千3百20万円)

- 情報センター  
戸別受信機の購入費用  
(3百56万円)
- ☆住民ニーズ調査把握後の適切な予算執行を申し入れ

- 住宅リフォーム事業は終了  
商工業振興費として補助してきた「住宅リフォーム補助制度」は、28年度末をもって終了となる。

#### ※条例関係※

- いじめ防止対策委員会設置条例  
いじめ防止対策推進法に基づき新規制定
- 下水道条例の一部改正  
使用料の料金改定

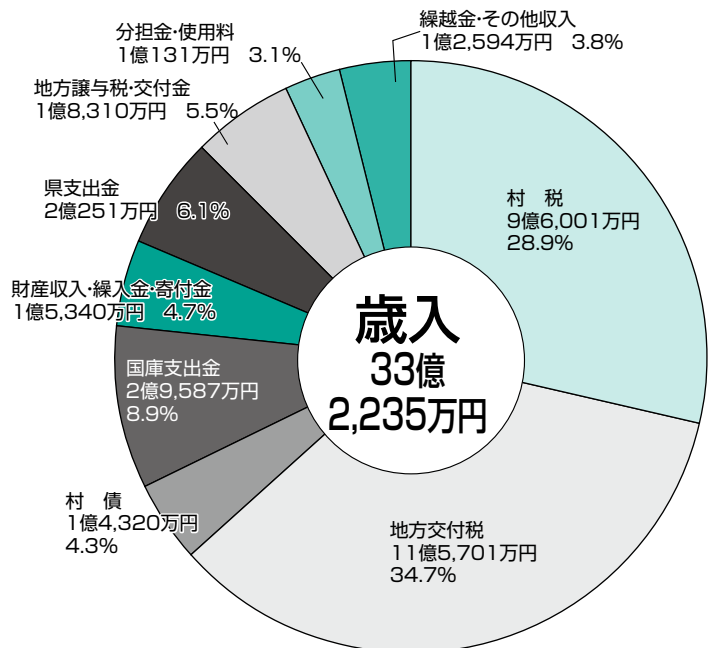
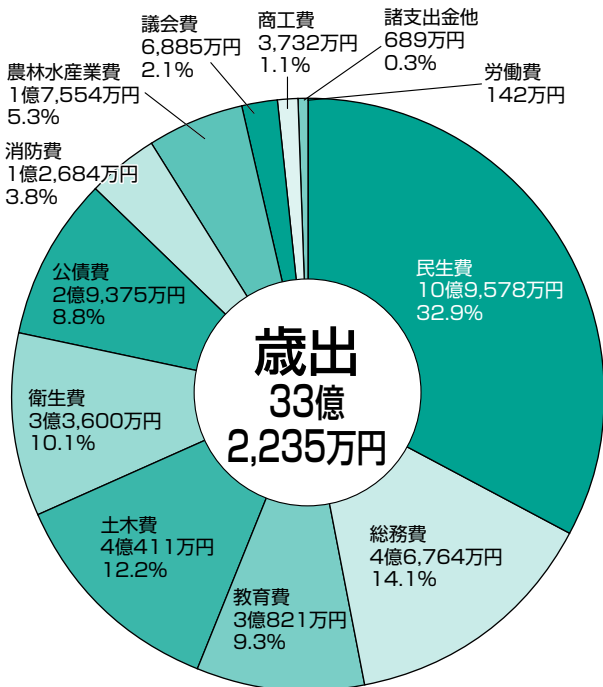
#### 企業会計・補正予算

(単位：千円)

予算名	区分	補正額	予算総額
水道事業会計	収益的収入	356	212,575
	収益的支出	27,220	199,092
	資本的支出	20,046	54,267
下水道事業会計	収益的収入	7,774	434,338
	収益的支出	3,125	404,592
	資本的収入	87,600	167,760
	資本的支出	93,000	336,065

## 一般会計予算総額 33億2,235万円

### 一般会計予算の内訳



そこが聞きたい

# 一般質問

3月議会定例会は8日(水)に一般質問が行なわれ、村政全般に亘って3人が質問した。

## 村内の空き家の現状と対策について 村長 実態調査を進め空き家バンク体制の確立へ



西牧一敏 議員

**Q** 現在の空き家の数はどれくらいあるのか。

**A** 村長 事前調査の段階で百軒前後の空き家がリストアップされている。管理する方法が不明で、著しく危険で景観を損なうような空き家は、今のところないと認識している。

**A** 村長 本格的な実態調査をしていないので、リストアップされた物件も「空き家」と特定はできない。所有者の意向調査も含めた実態調査を行なうことを検討し

ていく。

**Q** 照会できる空き家はあるのか。

**A** 村長 現在は村として照会はしていない。問い合わせがある場合には、不動産屋に当たっていただくよう案内している。

**Q** 空き家バンクの進捗状況は。

**A** 村長 長野県、市町村、一般社団法人長野県宅地建物取引業協議会が連携して運営している「楽園信州空き家バンク」があり、これから所有者からの情報提供を募って、照会できる体制を整ったら、システムを利用していく。

村のホームページ内にもサイトへの入口をリンクさせて、村の情報と連携させていく。その他に、福祉バスのあり方について質問した。

## 小学校の「コミュニティスクール」進展はボランティア確保には広報の充実が必要



上条浩堂 議員

**Q** 小学校の「コミュニティスクール」進展を伺う。

**A** 教育長 中心となる「学校運営協議会」は現在5つの支援部となっていて、支援部ご

との内容も多様になり活動の充実が図られている。一方、支援部によってはボランティアの高齢化や固定化が課題となっており、新たなボランティアの確保が必要な状況となっている。これまでは主として地域教育コーディネーターの人脈等によりボランティアに加わっていただいているが、住民

## 残さず食べよう！ 30分・10分運動について 村長 啓発用コースターを作成、配布している



竹野入恒夫 議員

**Q** 飲食店の食品ロス

の約6割は客の食べ残しだ。会食や宴会で、乾杯後30分間と、お開き前の10分間は席で料理を楽しみ、食べ残しを減らすため、村で進めている「残さず食べよう30・10

運動」の状況は。

**A** 村長 平成23年度頃から広報、ホームページ等で情報発信を始めた。

平成24年度からコースターを作成し飲食店に配布し啓発している。

### 食育の推進は

**Q** 小学校での「食への感謝、大切さ、食

の皆様が主体的に参加する方法が望まれている。そのための方策については、広報活動が必要と考えている。ただ十分皆様に伝わる広報活動を研究し、充実を図っていくことが重要だ。

地域ぐるみで、地域の子どもを育てる意義を住民の皆様に認識していただき、そのために地域と共にある学校づくりの必要性と山形小学校の活動内容を理解してもらう広報活動の展開と、子どもの育ちに関係する機関・

べ残しはもったいない等」を育む取り組みは。

**A** 教育長 子どもたちが、豊かな人間性を育み、生きる力を身につけるためには、「食」が重要である。

「食」の知識や「食」を選択する力を習得し、健全な食生活実践のため、給食時や児童会活動を中心に食育指導をしている。「食」への感謝を育てる取り組みとして、食材生産者の皆さんとの「交流懇談会給食」の実施や、給食調理の様子をビデオ放送し、調理員さんの思いや、更に食器を作る職

人さんの思い等、給食に携わる様々な人々の願いを伝え、感謝の気持ちを育むようしている。

家庭・保護者へは、栄養教諭から、例えば「冬を元気で過ごすための栄養」等、食育に関する記事を掲載した給食便りを随時配布している。また保護者対象の給食試食会の実施等、家庭・保護者への啓発に取り組んでいる。

その他に村長選挙・全国学力状況調査について質問した。

# 小さいながら キラリと輝く施策

## —青木村の地域活性化策—

少子高齢化など、地方の取り組みが促されているなか、人口4、400人弱の小県郡青木村であるが、1期目の北村政夫村長の地域活性化の施策が注目されている。

財政・人口規模などは山形村より小さい村であるが、国や県の補助金を活用して防災や子育て支援など精力的に行われている事例を、山形村施策の参考のため議員研修を行なった。

(新居 禎三)

### あらゆる対策を

1月30日、本年度の議員研修として、小県郡青木村の防災の取り組み・子育て支援対策などの視察研修を行なった。

まず最初に、地方創生先行交付金を活用した、「道の駅あおき」の高機能拠点化プロジェクトの一つで、村民懇談会や、パブリックコメントを取り入れた農産物直売所の新築工事が行なわれている現場を、北村政夫村長自らご案内いただき、新

たに、道の駅全体に回廊が設置され、食堂・研修施設・農産物加工所などが結ばれる全体計画の説明を受けた。

その後、向かいにあるふるさと公園あおきの視察を行なった。この公園は、通常時は子どもたちの遊具や花畑、芝生の原っぱでの交流イベント会場、小型犬のドッグランなど村民の憩いの場として活用されるように造られているが、災害時には大規模な被災者避難施設として機能できるように、マンホールトイレ・かま

どに変換できるベンチ・駐車場地下の防火貯水槽・ヘリポートなどが整備されている。

また、地方創生交付金を活用して青木村の企業が制作、道の駅入り口にシンボルタワーのように設置された施設は、自然エネルギー（風力・太陽光）を利用して発電し避難施設の緊急電力確保ができるようになってきている。

また、平成26年には、災害発生時の役割職員の初動マニュアルの策定、防災協定を他市町村始め飲料の確保、LPガスの供給、建物の危険度判定など各種団体企業と協定の見直しを行ない、災害時の備えを充実できるようにしている。

山形村の今後の防災の取り組み検討の際に、先進事例を参考にしていければと思う。

### 村の宝として 子どもを育てる

子育て支援策としては、「心豊かでたくましい子

どもの育成（社会力（生きる力）を育てる）」を村の教育目標として、保育園から小学校、中学校と村の良さを生かし、村の宝として子どもを育てる方針を策定し、多くの村民にかかわってもらい連携・協働して子育てを行なっている。

青木小学校では、平成28年に、こうした地域学校協働活動の推進が評価され、文部大臣表彰を受賞した。

また、村独自で高校生大学生に奨学金貸与の制度を創るなど、子育て環境の充実に努めている。

こうしたことが、ITイン、Uターンを希望する若者が増えてきたことで成果が現れているのである。



緊急時の電源施設

## 議会日誌

1月		2月		3月		4月	
4日	松本ハイランド農協山形支所 新年会	1日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	1日	第1回議会定例会開会	1日	中京地区山形村人会（名古屋）
6日	役職員新年会	2日	防犯協会事業部会	2日	松本ハイランド農協新年会	2日	正副議長
9日	副議長	3日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	3日	松本ハイランド農協新年会	3日	正副議長
10日	消防団出初式	4日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	4日	松本ハイランド農協新年会	4日	正副議長
11日	議長	5日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	5日	松本ハイランド農協新年会	5日	正副議長
15日	議長	6日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	6日	松本ハイランド農協新年会	6日	正副議長
16日	議長	8日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	8日	松本ハイランド農協新年会	8日	正副議長
17日	議長	10日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	10日	松本ハイランド農協新年会	10日	正副議長
18日	議長	11日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	11日	松本ハイランド農協新年会	11日	正副議長
20日	議長	12日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	12日	松本ハイランド農協新年会	12日	正副議長
21日	議長	13日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	13日	松本ハイランド農協新年会	13日	正副議長
22日	議長	14日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	14日	松本ハイランド農協新年会	14日	正副議長
23日	議長	15日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	15日	松本ハイランド農協新年会	15日	正副議長
24日	議長	16日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	16日	松本ハイランド農協新年会	16日	正副議長
25日	議長	17日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	17日	松本ハイランド農協新年会	17日	正副議長
26日	議長	18日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	18日	松本ハイランド農協新年会	18日	正副議長
27日	議長	19日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	19日	松本ハイランド農協新年会	19日	正副議長
28日	議長	20日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	20日	松本ハイランド農協新年会	20日	正副議長
29日	議長	21日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	21日	松本ハイランド農協新年会	21日	正副議長
30日	議長	22日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	22日	松本ハイランド農協新年会	22日	正副議長
31日	議長	23日	松塩地区広域施設組合議会運営委員会（松本市）	23日	松本ハイランド農協新年会	23日	正副議長



## 徒然考

大槻昭義

(下大池)

平成は30年で終わること  
は確かな模様です。私は終  
戦前年に生まれましたが、  
傷痍軍人を見てもあの凄惨  
な無謀な果敢な当時を知る  
ことは、ずうっと後。色ん  
な記録、話などを見聞きし  
深く胸に刻んでいるところ  
です。さらに平成23年の、  
あの目に焼き付いて離れな  
い地震に伴う大津波、そし  
てメルトダウンした史上最  
悪の原発事故です。未だに  
事故処理は初期段階、廃炉  
処理には目鼻も付きません。  
人災事故が起こりうる原  
発の再稼働推進政権の支持

己主張表現が下手というこ  
とです。中国・韓国・北朝  
鮮との外交は混迷が上にも  
より重要度は増しています。  
それにつけても仏・独の  
ように長年戦いを繰り返して  
いた隣国同士が、英知を  
絞ってEU（欧州連合）を  
作り上げた事実には敬意を  
表します。世界へ飛び回る  
八方美人の外交より、もっ  
と腰を据えた地道な政策を  
実行して欲しいと思うのは  
無理なことでしょうか？



## 私と山形村

中村砂代子

(中大池)

私は木曾の贅川で生まれ  
ました。

主人とは職場で知り合  
いました。山形に来て25年。

今は環境も様変わりし、来  
た頃とはだいぶ違って農業  
も機械化が進んだように思  
います。主人に付いて農業  
を手伝うようになり、物作  
りの楽しさを感じました。  
スイカ、長芋、ゴボウ、特  
にスイカ苗を植えてから何  
回も手を掛けやっとな収穫。  
そのスイカを初めて畑で食

べた時の甘さ・食感を今で  
も忘れません。そのことが  
あつたから続けてこられた  
のだと思います。

専業となると大変なこと  
ばかりでした。大変な所に  
嫁に来てしまったと思いま

した。友人にも恵まれ大勢  
の人に助けていただき主人  
と2人喧嘩しながらも頑張  
ってこられました。これか  
らも主人と2人農業をしな  
がら趣味を楽しみ、旅行に  
も行きたいと思います。

## 旬の味

山形村を二分するよつな村長選挙が終わった。結果は、105票差で本庄村長が誕生した。

本庄氏は、4年で村を変える、「村民も役場も生き生きとした村づくり」を掲げて当選した。3月17日に支持者と役場職員に迎えられて初登庁した。公約で示した施策の実行に向けて指示を出すなど、具体的な動きも見せた。村政の舵取り役として向こう4年間の本庄村政のスタートを切った。役場はサービス業である。村民から税金を貰い、いかにお客さんの要望に応えていくのか課題である。今までのやり方では通用しない。自分を言め、職員の意識改革を行なっていく。村民にも、時には一緒に汗をかいていただくこともある。

小規模な村では、村民一人一人の考えが生かされることが強みだと訴えた。

「村民と共に、住みがいのある村をつくりたい」と考えを示した。これから、本庄村長は、どんな手腕を発揮するか、注目したい。

竹野入恒夫

## 編集後記

公開討論会に思う

任期満了による村長選挙が終わり、先日3月16日に、4年間村のためにご苦労いただいた百瀬村長が退任され、翌17日に本庄新村長が初登庁された。今年から選挙権が18歳からとなり、この初めて選挙権を持つ若者たちに投票場に足を運んでいただくこと、村の若い人たちが初めて「山形村長選挙立候補予定者・公開討論会」を2月12日にミナ・フード館2Fミナホールで開催された。

この「公開討論会」の場に行ってみると、若い人たちは見当たらなかった。が、村民の一人として今回の選挙は、当然候補の結果も大変気になるほか、若い人たちの投票率がどれだけ上がるか気になる選挙だった。結果は、前回に比べ0・14%の伸びであった。

(籠田 利男)

## キャッチボール 私の一言